

授業科目 スポーツ支援Ⅱ

【担当教員名】 佐藤 他	対象学年	3	対象学科	理学・作業・言語・健康・社会
	開講時期	後期	必修・選択	選択
	単位数	1	時間数	30

<一般目標：G I O>

これまで身につけてきた近代スポーツとしての「競技スポーツ」、さらに「ニュースポーツ」の楽しみ方やその実践の仕方（ルール、マナー、場の設定、ゲームの進め方など）を生かして、医療福祉の分野の仕事に携わるために極めて大切な、障害者スポーツの典型である「チェアスポーツ」を自ら体験し、その楽しみ方、実践の仕方を習得する。
あわせてその経験をもとに新たなチェアスポーツを創造する活動を通して、障害者・高齢者スポーツの可能性を探る。

<行動目標：S B O>

1. 競技スポーツやニュースポーツと障害者・高齢者スポーツの違いを理解する。
2. 障害者・高齢者スポーツを行うために必要なストレッチや準備運動を理解する。
3. 障害者・高齢者スポーツを行うために必要なストレッチや準備運動を修得する。
4. 障害者・高齢者スポーツを身体感覚として修得する。
5. 障害者・高齢者スポーツのルール、マナーを実践しながら修得する。
6. 障害者・高齢者スポーツの場の設定、ゲームの進め方を実践しながら修得する。
7. 学んだ障害者・高齢者スポーツを発展させ、高齢者や障害のある人に応じた障害者・高齢者スポーツを創ることができる。

回数	授業計画又は学習の主題	SBO	
		番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	オリエンテーション 競技スポーツやニュースポーツとの違い	1	講義
2	障害者・高齢者スポーツのための用具の操作 準備運動、ストレッチング	23	講義・実習
3	障害者・高齢者スポーツ1 典型的教材の体験	234	講義・実習
4	障害者・高齢者スポーツ1 典型的教材、ルール、マナーの修得	345	講義・実習
5	障害者・高齢者スポーツ1 典型的教材、場の設定、ゲームの進め方	345	講義・実習
6	障害者・高齢者スポーツ1 典型的教材、障害者・高齢者スポーツを楽しむ	3456	講義・実習
7	障害者・高齢者スポーツ1 典型的教材、障害者・高齢者スポーツを楽しむ	3456	講義・実習
8	障害者・高齢者スポーツ1 典型的教材、障害者・高齢者スポーツをさらに工夫して楽しむ	3456	講義・実習
9	障害者・高齢者スポーツ1 典型的教材、障害者・高齢者スポーツをさらに工夫して楽しむ	3456	講義・実習
10	障害者・高齢者スポーツ1 典型的教材、障害者・高齢者スポーツをさらに工夫して楽しむ	3456	講義・実習
11	障害者・高齢者スポーツ2 新しい障害者・高齢者スポーツを創る	367	実習
12	障害者・高齢者スポーツ2 新しい障害者・高齢者スポーツを創る	367	実習
13	障害者・高齢者スポーツ2 新しい障害者・高齢者スポーツを創る	367	実習
14	障害者・高齢者スポーツ2 新しい障害者・高齢者スポーツを創る	367	実習

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書				
参考書	障害者・高齢者のレクリエーション活動	キヨル・アノダ 著	学苑社	1996 ¥2,524
	障害者とスポーツの大众化とノーマライゼーション	芝田徳造 著	文理閣	1992 ¥1,942
その他の資料	A4サイズファイルに毎時配布の学習カードを綴る			

【評価方法】 出席状況、授業態度、レポート、スポーツに関わるボランティア活動のポイントから総合的に判断する。	【履修上の留意点】 状況によっては導入時、集中授業の可能性もある。 集中授業を実施した場合、その時間を3～4時間分に充てる。 スポーツ支援Ⅰとスポーツ支援Ⅱは、講義であつかう種目に違いがある
---	--

全科共通科目 教養